



全国コミュニティサイクル担当者会議

【対象地区：千代田区(大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会)】



平成23年2月21日(月)

1

0. はじめに(大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会とは)

1. 昨年度実施したコミュニティサイクル社会実験概要
2. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験概要
3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果
4. 千代田区における今後の取組み

0. はじめに（大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会とは）

①大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会の取組み概要

- 対象エリア……JR東京駅を中心とする、大手町・丸の内・有楽町地区(大丸有地区)とその周辺地区
- 取組み概要……電気自動車、HVバス、さらには自転車など複数の環境交通に係るメニューを総合的に実施し、「誰もが身近に見られる、体験できる環境交通」の構築を目指し、「環境モデル都市・千代田」の実現に寄与することを目的に協議会を設立。

【大丸有地区】



【神田地区】



【秋葉原地区】



3

0. はじめに（大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会とは）

②大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会会員

- 会 長：高橋洋二(日本大学総合科学研究所教授)
- 副会長：水口雅晴(大手町・丸の内・有楽町地区再開発推進協議会)
- 会 員：日本大学、法政大学、専修大学、神田駅西口商店街振興組合、秋葉原タウンマネジメント株式会社、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、国土交通省関東地方整備局、東京国道事務所、東京都、千代田区、首都高速道路株式会社、NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、株式会社日の丸リムジン、三菱商事株式会社(順不同)
- 事務局：(株)エックス都市研究所(事務局長)、ランドブレイン(株)

4

0. はじめに（大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会とは）

③電気自動車・HVバス・自転車・急速充電器の活用など総合的な環境交通社会実験の概要と成果

実験の成果を踏まえH22年3月よりEVIによるコミュニティタクシー「ゼロタクシー」の運行を開始、千代田区もEVカーシェアリング事業を開始

METAROD MARUNOUCHI

■第1次実験メニュー概要

マルチポート型コミュニティサイクル

部分の外資系ホテル等に設置されたレンタルサイクルポートからコミュニティサイクルに乗っていただき、観光や買い物などを移動しながら楽しんでいただけます。モニターには、大丸有地区心部における移動及び観光手段としての「自転車」の可能性等に関するアンケートに回答していただけます。

●サイクルポート設置予定地

- 運比南(ウェスティンホテル東京)
- 六本木(ザ・リッツ・カールトン東京)
- 有楽町(ザ・ペニンシュラ東京)
- 丸の内(三菱ビル/スカイバスターズセンター)
- 丸の内(丸の内ホテル)
- 日本橋(マンダリンオリエンタル東京)

④自動車による

コミュニティタクシーとカーシェアリング・急速充電器活用

【コミュニティタクシー】
電気自動車を使用したコミュニティタクシーに乗り、近距離を走行して移動していただきます。モニターには利便性・快適性等に関するアンケートに回答していただきます。

【カーシェアリング・急速充電器活用】

電気自動車を使用したカーシェアリングと「急速充電器活用」として、必要な移動(目的地まで)は、東京駅周辺と横浜みなとみらい21地区での走行・移動をさせていただきます。モニターには移動の利便性・快適性、急速充電器等に関するアンケートに回答していただきます。

●運用予定

- コミュニティタクシー
- 日中(10時～17時)より乗車
- 走行距離と1回あたりの利用時間(15分まで)で乗車回数無制限と利用制限
- 乗車料500円
- カーシェアリング
- 日本EVIカーシェア(日本EVIより乗車)
- 1回あたりの利用時間:最大1時間以内

【急速充電器活用(電気自動車による遠域移動)】
乗車料:1回あたり500円以内
充電場所:ソニーパーク下野車庫(乗客のみ)、日本EVIカーシェア(日本EVIより乗車)
目的地:丸の内線丸の内駅(丸の内線) 丸の内線丸の内駅(丸の内線) 丸の内線丸の内駅(丸の内線)

大丸有地区・周辺地区環境交通 第1次社会実験イメージ



無料HVバス丸の内シャトルの持続的運行



大丸有地区4ヶ所に急速充電器を戦略的に設置



1. 昨年度実施したコミュニティサイクル社会実験概要

【平成21年度第1次社会実験概要】

実施期間	期間	9/29(火)～10/12(月) 計13日間
	運営時間	10:00～13:00 14:00～17:00
施設規模	自転車台数	18台
	ポート数	7箇所
料金体系		無料
初期登録	登録方法	webモニター登録
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	管理表の記入
	集中管理	—
	料金収受	—
機器	自転車車両	軽快車
	ラック	平置き

- 外資系ホテル(ザ・ペニンシュラ東京など)を中心に、ホテル利用者を対象としたレンタサイクル(株)日の丸リムジンを展開していた。
- 更なる利用を促進するため、これらストックを活用し、マルチポート型コミュニティサイクルを実施。
- 同時に、循環バス、電気自動車など総合的な環境交通社会実験を実施。

1. 昨年度実施したコミュニティサイクル社会実験概要



延べ利用回数	135回
1日平均利用回数	10.4回/日
回転率	0.58回/台・日

1. 昨年度実施したコミュニティサイクル社会実験概要

【平成21年度第2次社会実験概要】

実施期間	期間	1/16(土)～2/14(日) 計10日間(土日のみ)
	運営時間	11:00～15:00
施設規模	自転車台数	40台
	ポート数	8箇所
料金体系		無料
初期登録	登録方法	webモニター登録 (+ 一般利用者)
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	管理表の記入
	集中管理	—
	料金收受	—
機器	自転車車両	軽快車/電動アシスト 自転車/子供用自転車
	ラック	平置き(一部簡易型ラック)



- 四ツ谷駅・秋葉原駅・有楽町等鉄道駅周辺にサイクルポートを設置
- 貸出・返却の手続きは学生などスタッフが実施
- 利用料金は無料

1. 昨年度実施したコミュニティサイクル社会実験概要



▲市ヶ谷駅近くの公園に設置したサイクルポート



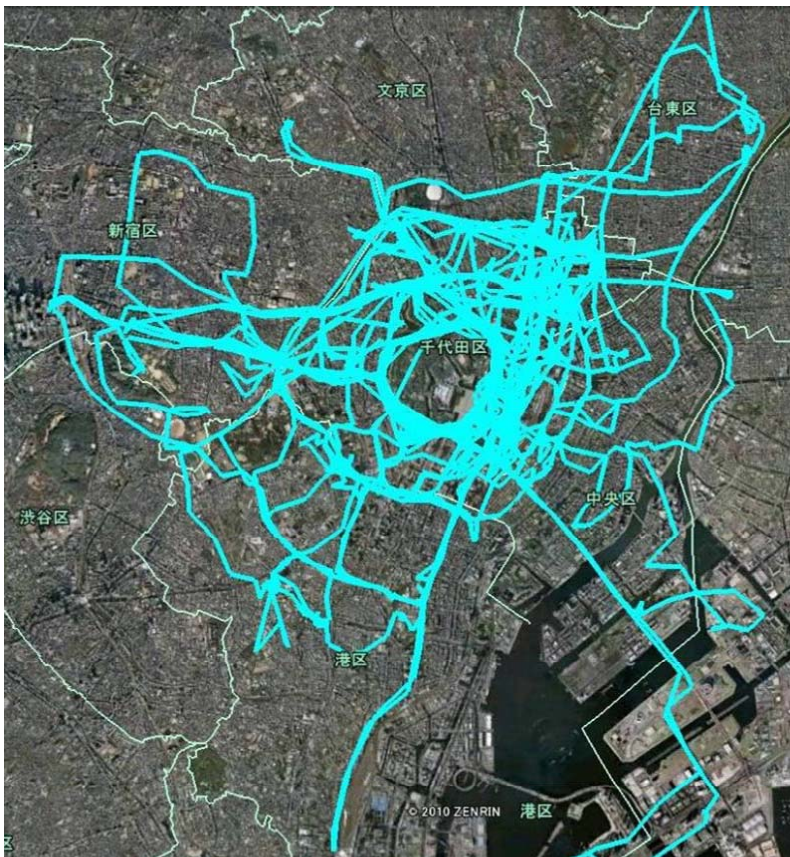
▲サイクルポートの一部に設置した簡易型ラック(秋葉原駅)



▲利用者に配布したサイクルマップ

延べ利用回数	222回
1日平均利用回数	24.4回/日
回転率	0.61回/台・日
平均利用時間	132分/回

1. 昨年度実施したコミュニティサイクル社会実験概要



▲平成21年度第2次社会実験における自転車走行軌跡データ(n=70件)

●千代田区内だけでなく、日本橋、お台場、新宿駅、浅草寺方面など広域的な利用がされた。

2. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験概要

【平成22年度社会実験の実施概要】

実施 期間	期間	10/25(月)～11/24(水) 計31日間
	運営時間	10:00～18:00
施設 規模	自転車台数	39台
	ポート数	11箇所
料金体系		登録料(一般300円、法人500円(3口まで可)) 利用料(1日券200円/3日(回)券500円/7日(回)券1,000円/1ヶ月券4,000円)
初期 登録	登録方法	申込書記入/会員カード発行
	登録場所	各サイクルポート
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	利用者カード/管理表への記入
	集中管理	ポート管理者がコールセンターへ連絡
	料金收受	現金
機器	自転車車両	軽快車/電動アシスト自転車
	ラック	平置き

11

2. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験概要



12



▲店舗ののきさきに設置したサイクルポート



▲法政大学自転車駐車場の一部に設置したサイクルポート



▲神保町・古本屋隣の駐車場に設置したサイクルポート



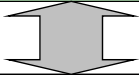
▲貸出・返却の機能を代替して行った「本と街の案内所(神保町)」

2. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験概要

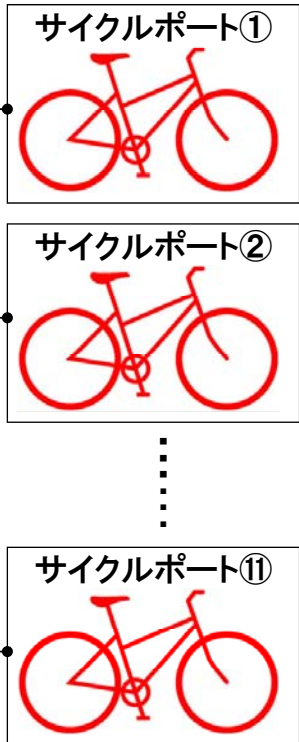
【運営体制】

コールセンター(サイカパーキング(株))

- 利用者: 社会実験に関する問合せ/サイクルポートの案内/利用時の故障や事故等
- 運営スタッフ(各サイクルポート): 貸出・返却があった場合に連絡
 - ・利用登録申込書、身分証の確認
 - ・利用料金の徴収
 - ・貸出・返却時間/利用登録NO/自転車NOの確認・連絡
 - ・サイクルマップの配布/アンケート調査票の配布



大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会 事務局



2. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験概要

【周知PR・報道機関への情報提供】

- 大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会ホームページの作成
- 区役所、サイクルポート設置場所へのポスターの掲示、サイクルマップの留置き
- 関係機関によるホームページへの掲載
 - 千代田区総合ホームページ
 - 千代田区観光協会ホームページ
 - サイクルポートを設置した法政大学、専修大学ホームページ
- 千代田区広報誌への掲載
- 日本経済新聞(10/26)への掲載
- 市ヶ谷経済新聞(インターネット、10/15)への掲載



▲千代田区広報誌(10/5号)
 千代田区広報誌「広報千代田」10月5号(10/5)の「暮らし」欄に掲載された。千代田区環境交通推進協議会が主催する「千代田区コミュニティサイクル社会実験」の取り組みが紹介された。記事は「環境にやさしい自転車を共同利用しませんか」と題し、千代田区環境交通推進協議会が主催する「千代田区コミュニティサイクル社会実験」の取り組みが紹介された。記事は「環境にやさしい自転車を共同利用しませんか」と題し、千代田区環境交通推進協議会が主催する「千代田区コミュニティサイクル社会実験」の取り組みが紹介された。

▲区広報誌(10/5号)
 千代田区環境交通推進協議会が主催する「千代田区コミュニティサイクル社会実験」の取り組みが紹介された。記事は「環境にやさしい自転車を共同利用しませんか」と題し、千代田区環境交通推進協議会が主催する「千代田区コミュニティサイクル社会実験」の取り組みが紹介された。

▲日本経済新聞(10/26)
 日本経済新聞(10/26)の「社会」欄に掲載された。記事は「環境にやさしい自転車を共同利用しませんか」と題し、千代田区環境交通推進協議会が主催する「千代田区コミュニティサイクル社会実験」の取り組みが紹介された。

千代田区コミュニティサイクル社会実験

—自転車で環境にやさしいまちづくりと活性化を目指して—

自転車の共同利用に参加しませんか

実験期間

10/25(月)~11/24(水)

1ヵ月間実施!

悪天候の場合は中止とさせていただきます

利用時間帯

10:00~18:00

(貸出は17:30まで)

貸出自転車

- 電動アシスト自転車 25台
- 普通自転車 14台

※子供用自転車、ヘルメットの用意はごさいせん
 ※自転車の点検・修理、またはお客様がご利用中に自転車が壊れた場合はごさいせん

利用料金

200円/日~ (初回利用料のみ)

※初回利用料のみ登録料300円が必要で、2回目以降は不要となります。
 1日貸(200円)で、1日に1回でも自転車の貸出・返却が可能です。
 利用料は1日貸の場合、3日(300)貸、7日(700)貸、1ヵ月貸もありです。

利用対象者

アンケートなど社会実験に協力いただける13歳以上の方

千代田区コミュニティサイクル社会実験 サイクルポート位置図

貸出・返却場所

- 1 CASA NIKJOVA SHOW カンサーワンダフルスタッフ事務局
- 2 神田ふれあい通り(豊田町)
- 3 神田明神(神田神社)
- 4 オアシス@akiba
- 5 アーク千代田3331
- 6 日本大学理工学部付帯
- 7 神田古書センター
- 8 ちよだプラザフォーラムスクエア ビジネスセンター
- 9 専修大学児童遊園
- 10 法政大学外環校舎駐輪場

※サイクルポート(貸出・返却場所)により、実施期間、貸出及び利用時間帯が異なりますので、ご注意ください。
 詳しくはホームページをご覧ください
 社会実験ホームページ <http://naip.qad.jp>
 大丸有社会実験 事務局

●実施主体: 大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会
 ●協力: 国土交通省 都市・地域整備局/千代田区
 ●協賛: サイバーキング株式会社
 ●問い合わせ: 社会実験事務局 (080-5871-6942 (10:00~18:00))

▲周知用ポスター(区役所・出張所、各サイクルポート等へ掲示)

千代田区コミュニティサイクル社会実験

千代田区 サイクルマップ

実施期間: 10/25(月)~11/24(水)

利用時間帯: 10:00~18:00 (貸出は17:30まで)

貸出自転車: 電動アシスト自転車 25台, 普通自転車 14台

利用料金: 200円/日~ (初回利用料のみ)

利用対象者: アンケートなど社会実験に協力いただける13歳以上の方

社会実験概要

1. 社会実験の目的

2. 社会実験の趣旨

3. 社会実験の期間

4. 社会実験の時間帯

5. 社会実験の貸出・返却場所

6. 社会実験の料金

7. 社会実験の利用対象者

8. 社会実験の注意事項

貸出・返却場所

1. CASA NIKJOVA SHOW

2. 神田ふれあい通り(豊田町)

3. 神田明神(神田神社)

4. オアシス@akiba

5. アーク千代田3331

6. 日本大学理工学部付帯

7. 神田古書センター

8. ちよだプラザフォーラムスクエア

9. 専修大学児童遊園

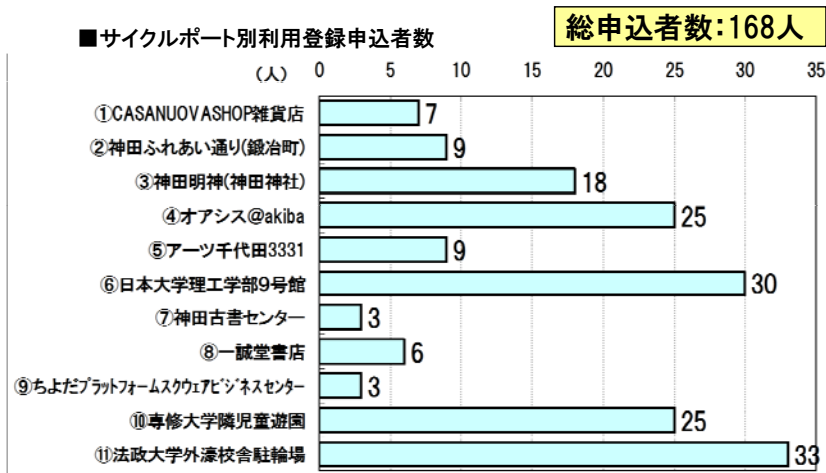
10. 法政大学外環校舎駐輪場

千代田区コミュニティサイクル社会実験 サイクルポート位置図

▲千代田区サイクルマップ(利用者等へ配布)

3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

1 利用登録申込状況



● 大学関係や鉄道駅直近のサイクルポートで利用登録申込が多かった。

千代田区コミュニティサイクル利用登録申込書

千代田区コミュニティサイクル社会実験にご参加いただき、誠にありがとうございます。
 区内各駅直近のサイクルポートに自転車を利用し、利便性の向上を図ります。また、
 大変申し訳ございませんが、社会実験に参加していただきますようお願いいたします。
 合わせて、本人確認のため、身分証明書の提示をお願いいたします。

申請日: 平成 22 年 月 日

利用登録番号	NO.
氏名	
連絡先	()
居住地	〒 () 都道府県 () 市区町村 () 番地
勤務先	就業先に従事している方 (会社員・公務員・自営業者) のみお答え下さい ①千代田区内 ②中央区内 ③その他 () 市区町村
身分証明書	運転免許書・健康保険証・社員証 パスポート・学生証・その他 () <small>(※利用開始から提示のあった身分証明書の印を付けて下さい。)</small>
利用料金	1日券 (200円) ・ 3日(回)券 (500円) 7日(回)券 (1,000円) ・ 1ヶ月券 (4,000円)
受付ポート	①CASA NUOVA SHOP (カサ・ヌーヴァ・ショップ) 雑貨店
受付者	

▲コミュニティサイクル利用登録申込書



▲コミュニティサイクル利用者カード



3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

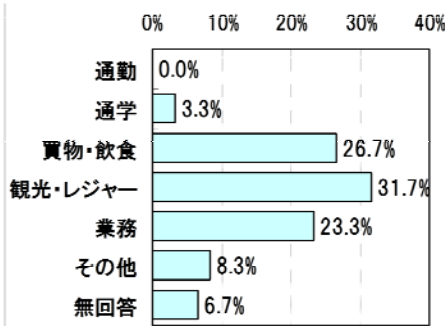
2 利用実績状況

延べ利用回数	274回
1日平均利用回数	11.0回/日
回転率	0.35回/台・日
平均利用時間	118分/回

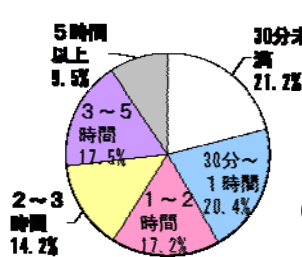
■ 平休別利用回数及び回転率

	総利用回数 (回)	総利用可能 回数(回) <small>総営業日×自転車台数</small>	回転率 (回/台・日)
平日	234	635	0.37
休日	40	139	0.29
合計	274	774	0.35

■ コミュニティサイクルの主な利用目的



■ 平均利用時間別構成比



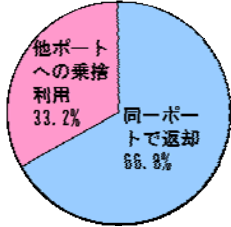
● 観光・レジャー、買物・飲食、業務等多様な目的で利用され、利用時間は短時間から長時間利用と様々であった。

● 特に平日で利用効率が高く、学生やサラリーマン等の足として利用された。

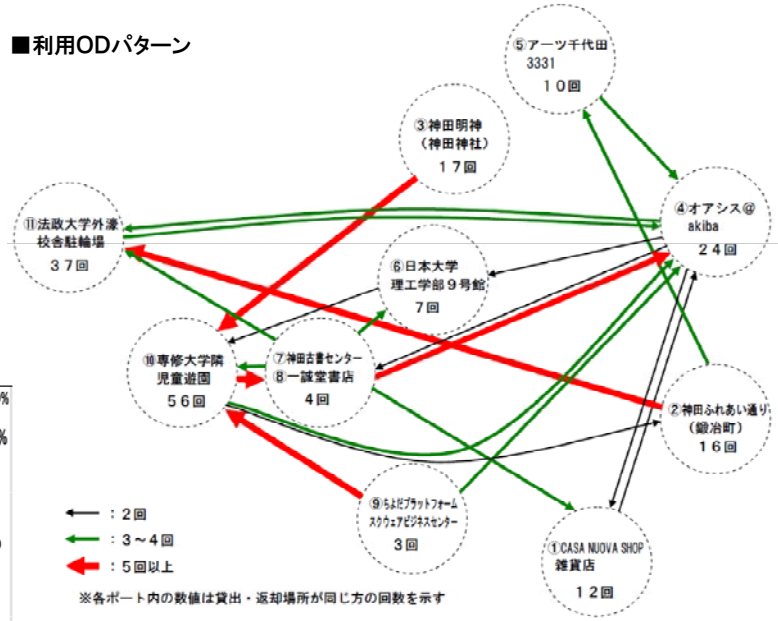
3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

●約3割の方が別ポートへの乗捨て利用が行われ、鉄道の利便性が高い都心部において、コミュニティサイクルの導入により、歩行支援や回遊性の向上といった観点で利用された。

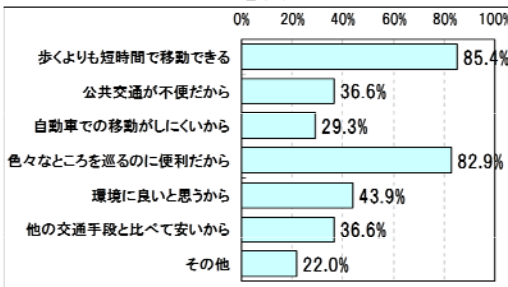
■乗捨て利用の構成比



■利用ODパターン

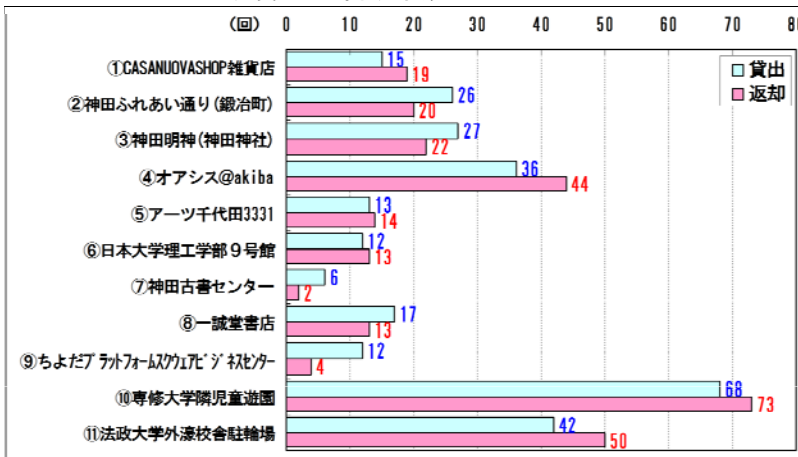


■コミュニティサイクルを利用された理由

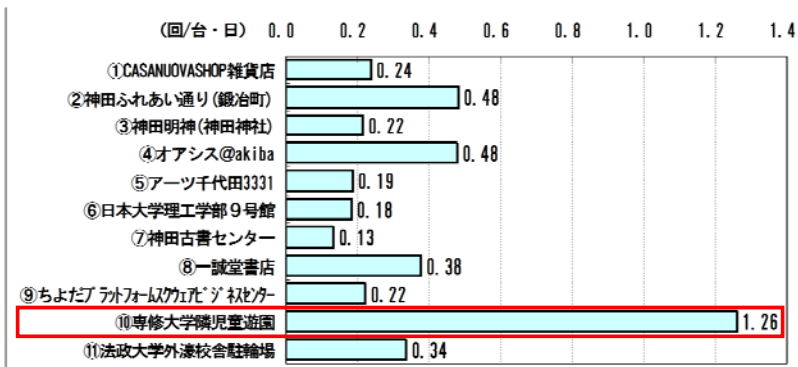


3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

■サイクルポート別貸出・返却利用者数



■サイクルポート別回転率



●利用者数は

・専修大学隣児童遊園
 ・法政大学外濠校舎駐輪場
 ・オアシス@akiba
 と大学関係や近年再開発が進んでいる秋葉原駅直近のポートで多くの利用があった。

●特に、専修大学隣児童遊園では、学生やサラリーマン(業務目的)等多様な目的でフル稼働に利用された。



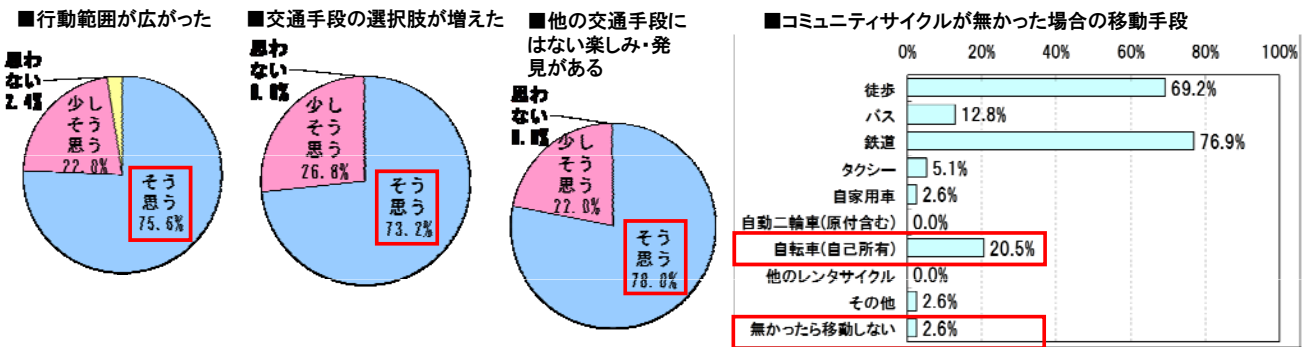
▲専修大学隣の児童遊園に設置したサイクルポート

3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

3 社会実験に対する評価

①コミュニティサイクルの導入効果

- 行動範囲の拡大や新たな交通手段としての認識、既往交通手段にない自転車利用(気軽に変更可能)としての効果が評価された。
- コミュニティサイクルの利用は鉄道や、徒歩からの転換が中心。自己所有自転車からの転換は約2割と放置自転車の削減も寄与することが期待。また、コミュニティサイクルにより新たに行動が発現した利用者が若干確認された。

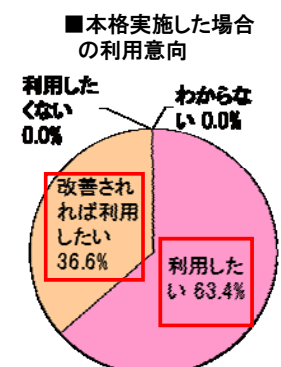
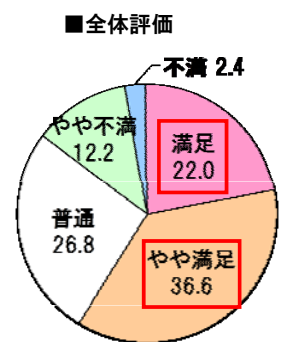


21

3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

②社会実験全体に対する満足度評価

- 地域(店舗、大学、神社など)との連携によるコミュニティサイクルに対する利用者の全体評価としては**約6割の方が概ね満足**した結果となった。
- 実際に運営に関った方々の意見としては、
 - もっと長く実験を実施すれば、もう少し利用者が増えたのではないか。
 - 千代田区において、交通渋滞の解消や環境問題等に対する効果も期待できるため、定着すれば素晴らしいと思った。 など
- 地域としては、**サイクルポートが1つの拠点として、新たな賑わい・交流を生み出す手段として期待されていることが確認された。**



22

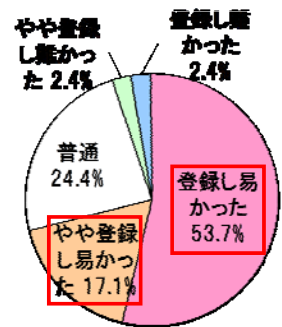
3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

③利用登録など貸出・返却の手続きに対する評価

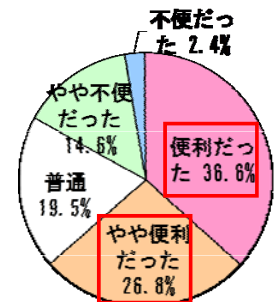
□貸出・返却の手続き(主体)…サイクルポートを設置した店主、施設関係者、学生等
 □手続き内容…利用登録申込書の記入、利用者カードの発行、料金徴収、コールセンターへの連絡

- 利用登録や貸出・返却のし易さは、利用者から概ね好評であった。一方で、実際に運営に関わった方々からは、日常業務と兼務した中で今回の運営に関わったため、**利用登録手続きの事前登録などのニーズ**が挙げられた。
- 地域との連携したコミュニティサイクルを実現するためには、**利用料金の徴収や自転車の管理だけに限定するなど、より簡素化したシステムの構築や、運営の一部について「本と街の案内所」等NPO法人等が関与する仕組みも有効な方策として考えられる。**

■利用登録のし易さ



■貸出・返却のし易さ



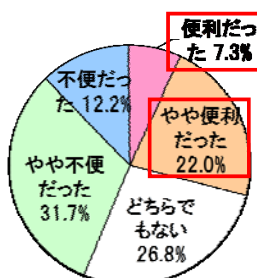
3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

④サイクルポート設置場所・数に対する評価

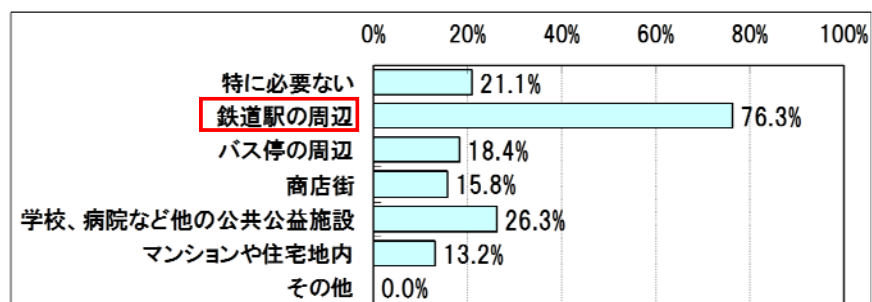
□実験エリア……千代田区の中でも商店街、古本屋街、大学等多数集積する神田駅・秋葉原駅・神保町駅周辺
 □サイクルポート……店舗、大学、神社など11箇所

- 利用者の評価としては、「便利だった」と回答した方が3割と低く、**鉄道駅周辺などに設置して欲しい意見が多かった。**
- 地域と連携しポートを設置するためには、地元など多様関係者との協力が必要不可欠で、**より鉄道駅直近の店舗等や公共施設など利用者が利用し易いポートを選定していくことが重要。**

■ポートの設置場所・数



■今回設置したポート以外に必要なと思う場所

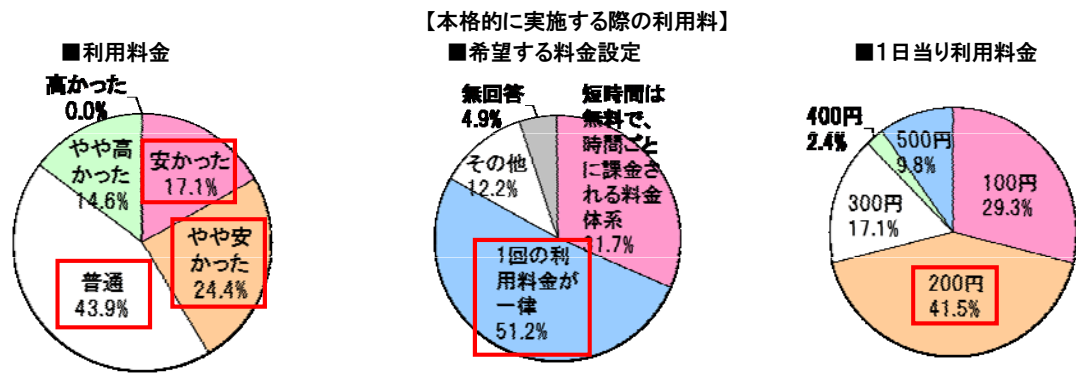


3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

⑤ 利用料金に対する評価

□ 利用料金……登録料300円(初回のみ)+利用料200円/日

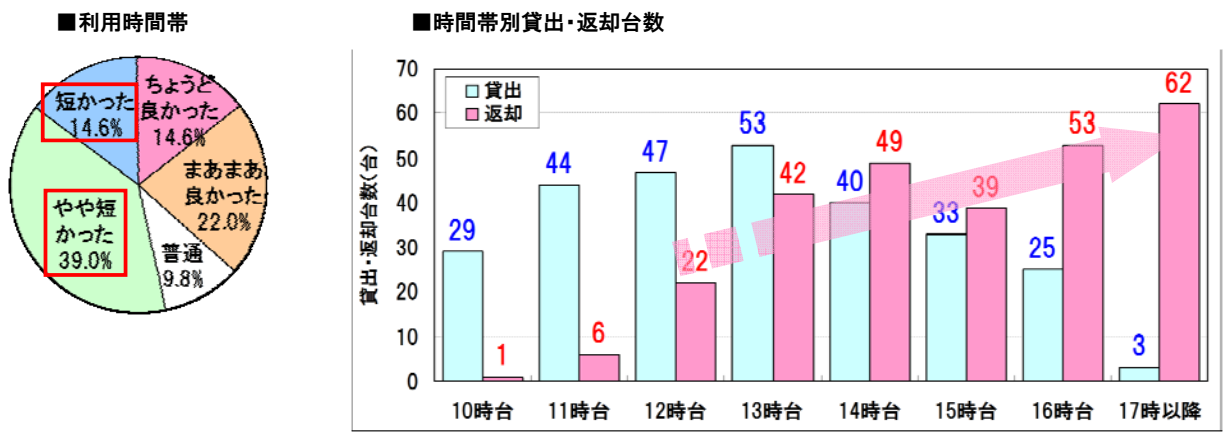
- 利用料金の評価としては「安かった」「普通」と回答した方が8割以上を占めているものの、実際に運営に関った方々からは、「実験の後半時期になると、登録料が足枷となり、利用に影響したのではないか」といった意見が寄せられた。
- 鉄道の利便性が高いという特徴や利用者の利便性等を考慮すると、鉄道運賃並みに設定することが重要で、**1回の料金が一律で、200円程度が1つの目安と考えられる。**
- 但し、登録料は**有無や料金設定について課題**が残った。



3. 平成22年度コミュニティサイクル社会実験結果

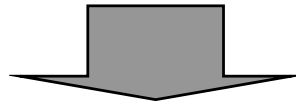
⑥ 運営時間帯（10：00～18：00）に対する評価

- 利用者の評価としては「短かった」と回答した方が54%を占め、時間帯別貸出・返却状況を見ると、16時以降に返却する利用が多かった。
- 運営時間帯は店舗等の営業時間帯を考慮した上で決定したものの、**地域の協力・理解を得ながら、利用者の利便性を高めるための工夫が必要。**



4. 千代田区における今後の取組み

- 大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会では、
 - 平成21年度秋……外資系ホテル(大丸有地区を中心に恵比寿、六本木)と連携した有人システム(無料)
 - 平成21年度冬……千代田区内鉄道駅周辺に設置した有人システム(無料)
 - 平成22年度秋……地域(店舗、大学、神社など)(エリア:神田駅・秋葉原駅・神保町周辺に限定)との連携した有人システム(有料)



- これまでの多様なシステムの検証結果等を踏まえ、千代田区におけるコミュニティサイクルの本格実施に向けた取組みの検討を予定している。

ご静聴ありがとうございました